

初任者研修を受ける前に知っておきたい基礎知識

農業振興部局や農業委員会に初めて配属された方などを対象とした研修会を開催します。

これまで農業に携わったことのない方が農業部門へ配属された方や大学で農業を学んだ方でも役所に入って農家の方と話しても用語すらわからないという方々のために「農業」の基礎知識を少しでも知っていただきたいと思い研修を企画しました。

当法人の研修は、話しを聞くだけのスクール形式ではなく、ワークショップ形式の研修のため、理解が深まると参加いただいた方にはとても好評です。

また、他の市町の方とお話しもできるため、交流の場としても人気を博しています。

なお、テキストの見本（一部）部を添付していますので参考にしてください。

日時：令和8年4月14日（火）10：30～15：30

場所：まちづくり市民交流プラザ 南館3階 会議室B
(広島市中区袋町6番36号)

説明者：特定非営利活動法人 がんばる農家のパートナー理事

資料代：1,500円(現金又は後日振込)

申込期限：令和8年4月9日(木)

申込方法：当法人ホームページから申込をお願いします。

<https://ganbaru-partner.com/>

特定非営利活動法人 がんばる農家のパートナー
広島市西区三篠町1丁目2-24-103

問い合わせ先：info@ganbaru-partner.com

又は090-3633-2798(担当:橋本)

初任者研修を受ける前に 知っておきたい基礎知識

(市町村農業振興部局・農業委員会職員向け)

特定非営利活動法人がんばる農家のパートナー

IT・AI・スマート農業

これからの農業のトレンド

でも…

- ・「1畝(ひとせ)」ってどのくらいの面積？
- ・畦畔とは何ですか？

これまで、全然農業に関わったことがない人にとっては素朴な疑問です

いきなり担当になっても農家の方の話についていけない。

上司や先輩の言っていることがさっぱり理解できない。

そういえば、私たちも初めて農業の行政の部所に来た時困ったな・・・

そこで私たちは考えました。

何かいいテキストや研修資料がないかと・・・

「畝(せ)」、「反(たん)」、「町(ちょう)」といった単位は、古くから使われ、農業現場などでは、今も普通に使われている面積の単位です。

1(ひと)畝 = 約 99.1m^2 、1反 = 約 991.7m^2 、1町 = 9917.36m^2 という関係になっています。

イメージとすれば、

1畝は 100m^2 、1反は $1,000\text{m}^2$ 、1町は $10,000\text{m}^2$ という感じです。

言い換えれば、10畝が1反。10反が1町です。

もう少しイメージを変えると $10\text{m} \times 10\text{m}$ が1畝です。

「反当(たんとう)」という言葉があります。

これは、(面積)1反当たりの作物の収量をいいます。

今は、ほとんど聞かなくなりましたが、石(こく)という単位があります。

稲が約150kgを一石(いっこく)といいます。